



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.16)

新年ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年は5月の定期点検工事において安定操業や稼働率の向上という面から設備改善を行い、12月末まで大きなトラブルもなく安定的な処理を継続することができました。

本年も引き続き安全の基盤があって始めて操業するという原則を守り、事実をしっかりと見、衆知を集めて課題を解決し、安全安定操業の実績を積み重ねてまいります。

PCB廃棄物の処理は、前例のない化学分解による処理であり、困難な事業ではあります。日本における「20世紀の負の遺産」を取り除くことができるよう、事業所一同、より一層の努力を続けてまいりますのでご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成21年1月

東京事業所長 太田 政信

大型トランスが搬入されました。



保管事業者の事業所からの搬出の様子



当施設内での受入の様子

東京事業所では受入基準に合致しない大型トランス(受電容量501kVA～2,000kVA)の受入を開始しています。

上記写真は11月22日に行われた大型トランスの搬出・搬入状況ですが、この大型トランスは受電容量1,400kVA、重量にして6.9トン(含 内部のPCB油)もあるものです。

今回搬入された大型トランスは、当処理施設の受入基準に合致させるため、現地でPCB油を抜き取り、PCB油と躯体を別々に当処理施設へ運んでいただきました。上記トランスからのPCB油の抜油量は2.1トンになります。なお、現地抜油は保管事業者の責任で行っていただいています。抜油等の作業手順や環境対策例については、日本環境安全事業株式会社へお問い合わせください。

現地抜油したPCB油はドラム缶にて当処理施設に搬入されます。今回の搬入には抜油ホースが簡単に取り付けられるドラム缶が使用されました。

PCB抜油後、外側の躯体部分が搬入されました。サイズが大きいため、当処理施設での受入には日本環境安全事業株式会社と搬入を担当する収集運搬事業者が協力し、細心の注意を払って作業をいたしました。

東京PCB廃棄物処理施設管内では、このような大型トランスが約360台あり、今後も継続的に受入し、安全に処理する予定です。

さらに2,000kVAを越えるの超大型トランスも約100台あります。これらは内部のPCB油も含めると重量が20トンを超えるものもあり、寸法に加え重量も受け入れ基準を超過することがあるため、現地での抜油のみならず、躯体の解体作業が必要となる場合もあります。

PCB廃棄物を搬入できる収集運搬事業者について

「東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理施設への入門許可要綱」に基づき、審査を行った結果、平成21年1月末日現在で30社に入門を許可しております。

JESCOが入門許可を出した収集運搬事業者は東京都の指導の下、「PCB廃棄物収集運搬業者安全協議会」を設け、運搬途上での万が一の事故に備え相互支援をする体制を整えております。

なお、入門許可証を交付した収集運搬事業者については、逐次HPにて公表しておりますので、ご参照ください。

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/acceptance/list.html>

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

平成20年10月～12月の処理実績は下表のとおりです。
現在高濃度PCB廃棄物、低濃度PCB廃棄物とも順調に処理が進んでいます。

高濃度・低濃度区分	廃棄物種類	10月～12月 処理台数	操業開始からの 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	76台	362台
	コンデンサ類	970台	3,295台
	安定器	0個	約 11,800個
低濃度PCB廃棄物	柱上トランス絶縁油	502.9kl	4,081.4kl

*高濃度PCB廃棄物については処理に着手した台数を処理台数としています。

*連結コンデンサは内部に複数のコンデンサがあった場合も、1台としてカウントしています。

東京PCB廃棄物処理施設視察について

昨夏の斉藤鉄夫環境大臣に引き続き11月19日に古川禎久環境大臣政務官に当施設を視察いただきました。

また、最近では海外の方の視察が多くなってきています。11月10日にはJICA(国際協力機構)を通じてトルコ共和国イスタンブールの技術者の方たち、そして11月17日にUNIDO(国際連合工業開発機関)を通じてスペインのPCB処理事業会社A.G.R社の方たちに当処理施設をご視察いただきました。

さらに、欧州だけではなく、中国の物資再生協会の方々や韓国環境部PCB担当者及び韓国電力の方々にもご見学いただいています。



施設を視察されるトルコ共和国イスタンブールの技術者の方々



東京PCB廃棄物処理施設についての説明を聞かれる豊洲地区連合会の皆さま

11月8日には豊洲地区連合会約50名の方々に当施設を見学いただきました。

豊洲地区連合会のある東京都江東区豊洲は東京PCB廃棄物処理施設から比較的近い地域にあることから、PCB廃棄物が実際にどのように処理されているのか非常に興味をもたれていました。

PCB処理事業の意義やPCBの具体的な処理方法などに加えて、東京都・江東区・当社の三者協定である「東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性と環境保全の確保に関する協定」や当施設のある東京スーパーエコタウン事業の概要についても説明させていただきました。

開業後5,600人を超える多くの方々に東京PCB廃棄物処理施設をご見学いただきました。当施設は、今後も積極的に見学を受入れてまいります。

なお、随時見学を受付けており、見学日は毎週火曜日、木曜日とさせていただいております。

以下のHPアドレスから『東京PCB廃棄物処理施設 見学申込書』をダウンロード、ご記入の上お申し込みください。

見学希望の方は、まずは東京事業所総務課までお問い合わせください。

<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/facility/tour.html>



日本環境安全事業株式会社 東京事業所
〒135-0064 江東区青海二丁目地先(中央防波堤内側埋立地内)
Tel. 03-3599-6023

<http://www.iesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>